

令和3年度

よこはま子ども 国際平和プログラム

報告書



令和4年3月

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会



Yokohama Children's Peace Message 2021

The 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games were held in summer 2021. Despite being delayed a year due to COVID-19, the combined effort of not only the athletes and event staff but also others such as health care providers and volunteers turned it into a marvelous competition and made an impression on people all over the world.

You are not alone. We all rely on each other; together, hand in hand, we overcome hardships. As we work together, things like nationality, race, and gender become irrelevant. However, there are still people in the world who have difficulty securing food for themselves. There are children who cannot receive a sufficient education. There is racial discrimination. Gender equality is not yet completely realized.

Right now, what can we do about these issues? We can appreciate diversity, recognize the goodness in people, protect the environment, reject discrimination, and throw away prejudices. And, by continuing to do these things for the world, we can further feel good about ourselves. We can further love our families. We can further care for our friends. And, we can further keep everyone on earth in our hearts and minds. This is what we believe.

People will continue to face many difficulties. The fight against COVID-19 will last a while longer. Also, there are still many problems to be addressed, such as natural disasters, conflicts, poverty, and environmental issues. However, just as we overcame hardships together, hand in hand, to accomplish the 2020 Tokyo Olympic and Paralympic Games, as we learn to cooperate and accept each other, we will achieve peace in the world. Our aim is making everyone on earth smile.

2021 Yokohama Children's International Peace Program Members

よこはま子どもピースメッセージ2021

2021年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されました。新型コロナウイルスの影響により1年延期となった大会ですが、開催にあたりアスリートや競技関係者だけではなく医療従事者やボランティア等、多くの人々の力を集結させて、世界中の人に感動を与える素晴らしい大会となりました。

人は一人ではありません。お互いに信頼し、手と手を取り合うことで、困難を乗り越えていきます。そこには、国籍や人種、性別は関係ありません。しかし、世の中には自分たちが食べる食料の確保が難しい人がいます。満足に教育が受けられない子どもがいます。人種差別があります。ジェンダーの平等もまだ完全には実現されていません。

今、私たちにできることは何でしょう。多様性を理解すること、差別をしないこと、人の良さを認めること、環境を守ること、偏見を捨てること。そして、世界のために私たちができることを続けることで、もっと自分を好きになれる、もっと家族を愛せる、もっと友人を大切にできる、もっと地球上のすべての人に思いを馳せることができる。そう信じています。

これからも人は多くの困難に直面していくことでしょう。新型コロナウイルスとの戦いもしばらく続きそうです。また、自然災害・紛争・貧困・環境問題など課題はまだ数多く存在します。しかし、共に手と手を取り合って困難を乗り越え成功に導いた東京2020オリンピック・パラリンピックのように、お互いに協力し認め合いながら世界の平和を実現していきます。地球上のみんなが笑顔になることを目指して。

令和3年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

この「よこはま子どもピースメッセージ2021」は、36名の子ども実行委員が自分たちにできることを呼びかけようと意見を出し合って作成し、国際連合やユニセフ本部等に届けました。

概要

本事業は、昭和 61 年度から平成 9 年度まで 12 回（12 年間）にわたって開催された「よこはま子ども国際平和フェスティバル」の趣旨を生かし、平成 10 年度に「よこはま子ども国際平和プログラム」と改めました。本市では、この事業を国際理解教育の一環として位置付け、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるとともに、国際平和の大切さを市民をはじめ広く世界に呼びかけるために行っています。

令和 3 年度は「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員会」「よこはま子ども国際平和募金」「よこはま子どもピースメッセンジャーの国際連合交流」などを新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、オンライン等を活用して実施しました。こうした取組を行うことで“国際社会で自分たちのできること”を実践する機会を得ることができました。

「よこはま子ども国際平和プログラム」事業内容

● 「よこはま子ども国際平和プログラム」活動内容

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で区の代表となり、「スピーチコンテスト」の本選に出場した児童生徒 36 名全員が「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」として委嘱され、活動を行います。

また、「スピーチコンテスト」で市長賞を受賞した小学生 2 名、中学生 2 名は「よこはま子どもピースメッセンジャー」として委嘱され活動を行います。

日程	活動内容	子ども実行委員の活動	ピースメッセンジャーの活動
9月	子ども実行委員委嘱式・第1回子ども実行委員会	○	○
10月	国際連合本部（ニューヨーク）等オンライン交流		○
11月	ユニセフハウスの施設見学	○	○
	第2回子ども実行委員会	○	○
1月	神奈川県ユニセフ協会「#あつまれ神奈川 2021 ハンドインハンド」募金 呼びかけ動画による参加	○	○
	横浜市国際平和講演会での活動報告		○ (オンライン)
	SDGs 達成の担い手育成 (ESD) 推進校 情報交換会への参加		○ (オンライン)
翌年7月	「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」での司会・前年度の活動報告		○
翌年8月	子ども実行委員委嘱式での司会 (前年度小学校の部市長賞受賞者)		○

令和 3 年度の具体的な活動日程、活動内容は次の通りです。

● よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

- 1 応募者数 39,696 名 (小学生 28,833 名 中学生 10,863 名)
- 2 参加校数 481 校 (小学校 339 校、中学校 142 校)
- 3 対象 横浜市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校
- 4 テーマ 「国際平和のために、自分がやりたいこと」
(「SDGs」17の目標からスピーチに盛り込む視点を選択)
- 5 経過 令和3年4月下旬～ 出場者募集
令和3年5月中旬～6月中旬 校内選考
6月中旬～7月上旬 区審査会・事務局審査
- 6 本選 (ビデオ審査)
 - (1) 撮影 令和3年7月21日～28日
 - (2) 審査 令和3年8月上旬



★区審査会.....

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場の人数制限を行ったり、オンラインで行ったりと各区で工夫をして開催しました。



★本選 (ビデオ審査).....

各区ごとに学校の体育館で区代表児童生徒のスピーチ動画の撮影を行いました。それを基に小学生 18 人、中学生 18 人のスピーチ動画のビデオ審査を行い各賞を決定しました。



★ 小学校の部 ★

★ 中学校の部 ★

市長賞 受賞者



教育長賞 受賞者



審査委員長賞 受賞者



横浜では「未来を開く志(グローバルな視野を持ち、持続可能な社会の実現に向けて行動する力)」を育むことを目指しています。そして、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」は、「国際平和のために、自分がやりたいこと」を共通テーマにしています。このテーマに向けた皆さんの発表を拝見し、とても感動し時に涙しました。自分の体験の中から感じたこと、実行したこと、そして将来に向けて考えたことなどを、心を開き自分の言葉で表現していました。まさに皆さんは「未来を開く志」を持っています。この志を胸に未来に向けて大きく羽ばたいていってください。

令和3年度よこはま子ども国際平和プログラム 実行委員会委員長 山手 英樹
(横浜市立小学校長会会長・港南台第二小学校長)

〈小学校の部〉市長賞、教育長賞、審査委員長賞 受賞者一覧

市長賞	南	日枝小学校	みはら 愛結 御原	服の願い
	青葉	榎が丘小学校	あらい ゆう 荒井 結宇	みんながかがやける未来へ
教育長賞	鶴見	潮田小学校	ひらかわ 奈菜望 平川	笑顔のために、理解し合う。
	旭	左近山小学校	やまざき ほのか 山崎 穂佳	だれもが認められ、平等な平和な世界へ
審査委員長賞	神奈川	神橋小学校	たにむら ひな 谷村 陽奈	異文化のかべをのりこえるためには
	戸塚	小雀小学校	こはやし にか 小林 仁夏	命のバトン

〈小学校の部〉優秀賞 受賞者一覧

優秀賞	西	西前小学校	ふくだ ふうり 福田 羽虹	みんなが個性を生かし合える世界へ
	中	本牧南小学校	さかした ブエマペ 坂下 アスカダニエラ	命のバトンをつなげて
	港南	日野南小学校	おおつか はると 大塚 陽反	しょう害があっても明るい世界を
	保土ケ谷	上星川小学校	おく こうだい 奥 鳳太	人を幸せにする未来への第一歩
	磯子	洋光台第三小学校	サイヤド らいな 来奈	人の輪で支え合う
	金沢	高舟台小学校	ながはた ゆうや 長畑 佑弥	ごみの無いきれいなまちづくり
	港北	菊名小学校	こんどう こうま 近藤 煌馬	君に届けわたしの髪
	緑	中山小学校	おくむら さあや 奥村 紗綾	型に縛られずに生きる
	都筑	茅ヶ崎台小学校	いちのみや うの 一宮 悠乃	差別のない世界への第一歩
	栄	上郷小学校	たなか さえ 田中 紗瑛	私たちにできることを
	泉	飯田北いちよう 小学校	おおむら ひみの 大村 文乃	個性を差別・否定してはいけない
	瀬谷	阿久和小学校	ハー ゲン コン タイ	ベトナムという国を豊かに

〈中学校の部〉市長賞、教育長賞、審査委員長賞 受賞者一覧

市長賞	金沢	六浦中学校	もとやま リサ 本山	心の垣根を乗り越えて
	泉	上飯田中学校	おがわ まお 小川 真央	互いの違いを受け入れて
教育長賞	中	横浜吉田中学校	はら ゆうこ 原 優子	「手を取りあって」
	港北	新羽中学校	ふじた かすみ 藤田 華澄	畑がおしえてくれたこと

審査委員長賞	南	蒔田中学校	なかの あんじゅ 中野 杏樹リナ	人種差別のない社会へ
	瀬谷	瀬谷中学校	しばた ゆい 柴田 結衣	最後までおいしく

＜中学校の部＞優秀賞 受賞者一覧

優秀賞	鶴見	市場中学校	しょうがき ななか 正 垣 那々花	チョコレートをお口にするとき
	神奈川	栗田谷中学校	にへい ゆな 仁平 柚菜	フィルターの無い世界へ
	西	岡野中学校	なかぎと あゆな 中里 亜優菜	思いは言葉を超える
	港南	上永谷中学校	たかま ゆい 高間 結	見えない障がいへの思いやり
	保土ヶ谷	境木中学校	やすはら あおい 安原 葵	手を差し伸べる勇気
	旭	旭北中学校	さくま れな 佐久間 玲凧	大好きな海とマスク
	磯子	浜中学校	ただ たな 武田 花	コロナ禍にある差別
	緑	東鴨居中学校	やまもと ゆい 山本 結	ちっぽけなことから
	青葉	市ヶ尾中学校	おおや かしゅう 大矢 果終	全ての生き物に幸せを
	都筑	茅ヶ崎中学校	よしむら きづな 吉村 絆	「今」を変えること
	戸塚	秋葉中学校	なかしま もか 中島 桃花	「自分らしく」を否定しない世界に
	栄	本郷中学校	さとう わかな 佐藤 わかな	私は日本人

● 「子ども実行委員」「ピースメッセンジャー」委嘱式

令和3年8月25日(水)に行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更となり、各学校で子ども実行委員・ピースメッセンジャーの表彰と委嘱が行われました。



● 「子ども実行委員」の活動

★子ども実行委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

子ども実行委員会を開催し、国際平和への思いをまとめた「よこはま子どもピースメッセージ2021」や「よこはま子ども国際平和募金」呼びかけ動画の作成などを行いました。

第1回 令和3年9月30日(木)

・「ピースメッセージ2021」の作成、自分の学校でできる取り組みの計画

作成したピースメッセージは、国際連合本部、国連児童基金(ユニセフ)本部に進呈するとともに、市内小・中・義務教育・特別支援・外国人学校に向け、呼びかけました。

第2回 令和3年11月30日(火)

・ピースメッセンジャー活動報告、募金呼びかけ動画の作成、ピースメッセージ動画の撮影、JICA 横浜による学習会

作成した募金呼びかけ動画・ピースメッセージ動画は、市立小・中・義務教育・特別支援学校へ公開し、国際平和への各学校の活動の中で活用しました。



★「ユニセフハウス」施設見学・・・・・・・・・・・・・・・・



品川の日本ユニセフ協会ユニセフハウスに子ども実行委員の有志が訪問しました。

実施日：令和3年11月27日(土)
参加人数：小学生8名、中学生8名



★神奈川県ユニセフ協会「#あつまれ

神奈川2021ハンドインハンド」募金への参加・・・・・・・・

令和3年12月に「世界の子どもたちのために私たちができること」をテーマに、誰ひとり取り残さない世界にするために大切だと思うことを、「すべての子どもに〇〇を」の〇〇にあてはめて、それぞれの思いを伝える動画を作成し、神奈川県ユニセフ協会のホームページで公開し、募金を呼びかけました。



★「よこはま子ども国際平和募金」の呼びかけ・・・・・・・・

前年度の子ども実行委員が作成したポスターや、今年度の子ども実行委員が作成した動画を、横浜市内の学校に配布・公開し、各学校で児童生徒による平和募金の呼びかけを行い、平和募金活動を実施しました。

★子ども実行委員等の各学校での取組・・・・・・・・

◎国際平和募金活動等

- ・ユニセフ募金など各種募金の呼びかけ

◎人権週間・全校集会・学年集会・給食の放送・

お昼の放送・校内での掲示・学校だより等での発信

- ・スピーチ発表、ピースメッセージの発表
- ・ユニセフやSDGsなどの発信
- ・子ども実行委員、ピースメッセンジャーの活動報告

◎その他の取組

- ・あいさつ運動 ・ペットボトルキャップ回収活動
- ・友達の良さをほめ合う取組 ・平和への願いを込めた千羽鶴の作成 ・SDGs目標達成までのカウントダウン作成
- ・寄付してもらった布でTシャツを作り、その売上をユニセフに寄付する活動
- ・使用済みの使い捨てカイロを環境活動をしている企業に送る活動
- ・特別支援学校の作品を鑑賞し、感想をメッセージカードに書いて送る活動
- ・自分が感謝する人の名前をシールに書いて貼り、学校のマスコットキャラクターを完成させる活動



★子ども実行委員が活動を通して感じたこと・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・自分と同じ意識や考えをもっている人がたくさんいるということが分かり嬉しかった。私ももっと頑張りたいという気持ちになった。
- ・学んだことや調べたことを学校に発信できて良かった。これで終わるのではなく次につなげていきたい。
- ・活動を通して全校のみんなに共感してもらえたことが嬉しかった。
- ・昼の放送で全校にスピーチした後、友達に「分かりやすく良かったよ。」と言われた。自分の思いがみんなに伝わって嬉しかった。
- ・動画での発信で、募金で支えられる活動がたくさんあるということを知ってもらうことができた。世界中の誰かが笑顔になると考えると、とてもやりがいを感じた。
- ・私たちの活動をきっかけに、全校のみんながもっと色々な人と話してみようと思ってくれたら嬉しい。私自身みんなと話すことでたくさんの気づきがあった。
- ・クラスのみんなと一緒に考えてくれたことが嬉しかった。立場や見方が変わることで様々な考えがあるということに気付いた。
- ・この活動に取り組んだことにより、少しずつ目的意識をもって生活することができるようになった。
- ・私の発表をみんなが真剣に聞いてくれて嬉しかった。何かを考えるきっかけになってくれたらいいと思う。
- ・自分が思っている事をみんなに伝える事で、全校に気持ちが伝わり、ユニセフ募金をしようとする人が増えた。自分の気持ちを伝えることの大切さを感じた。
- ・世界の国々で命の危険にさらされている人や、十分な栄養がとれずに飢えや病気で苦しんでいる人が大勢いることを知りショックを受けた。今、自分ができることを精一杯やっっていこうと思う。
- ・募金のお金がどんなことに使われるのかが分かったので、目的意識をもって取り組むことができた。
- ・たくさんのメッセージカードが届いて「心に響きました!」「自分でもできることから始めたいです!」と言ってもらえてすごく嬉しかった。多くの人に思いが届いたと感じた。
- ・学年の友達にすべての子どもに必要な〇〇を考えてもらい、自分では気付かなかった様々な意見、感じたことを知れたのが良かった。
- ・自分にできることは少しだが、困っている人に少しでも温かい気持ちになってもらえたら嬉しいと感じた。
- ・地域の人と行う「地域清掃」は、年齢に関係なく協力することができ、どんな人とでも一緒にやれば楽しく、街を美しくするという達成感があると感じた。
- ・自分の学んだことを相手に伝え、広めることの大変さと、私の働きかけが誰かの行動を後押しできることを学んだ。
- ・スピーチをした後に「勇気を出してみようと思えました。」「世界には困っている人がいることに気付きました。」などの感想をもらい、自分の思いが伝わったのだと思い嬉しくなった。
- ・生徒会のメンバーと話し合い、SDGs活動を校内で広めて一人一人の面白いアイデアを引き出していきたい。
- ・世界の現状、多くの国々が抱える問題、改善の為に行動している方々など、今まで自分とはあまり関係がないだろうと思っていたが、子ども実行委員になった事で自分には何ができるだろうか、考え動くことが必要だと思うようになった。
- ・私たちの小さな小さな積み重ねが世界をも動かす大きな力になると信じて行動していきたい。
- ・最後まで自信をもってスピーチをすることができ、「やりきった」という達成感を得ることができた。誰か一人でも私のスピーチが心に残ればいいと思う。
- ・国際平和の問題は、私たち自身の問題であるという自覚をもち、「誰かがやってくれる。」という人を減らすために、根気強く考えていきたい。
- ・SDGsのために自分ができることはあまりないと思っていた。しかし、ごみ拾いや物を買う時に本当に必要かどうかを考えるだけでもSDGsにつながるということを知った。
- ・放送でピースメッセージを伝えたとき、みんながしっかりと聞き、受け止めてくれた。皆で平和について考える一つのきっかけとなった。



●「よこはま子どもピースメッセンジャー」の活動

★国際連合本部等（ニューヨーク）オンライン交流・・・・・・・・・・・・・・・・

交 流 日：令和3年10月18日(月)～10月22日(金)

派遣人数：「よこはま子どもピースメッセンジャー」小学生2名・中学生2名

内 容： (1) オープニングセレモニー

(2) 国連バーチャルツアー

(3) 国連児童基金（ユニセフ）本部コミュニケーション局長 パロマ・エスクデロ氏、
公的パートナーシップ局長 功刀 純子 氏との会談

・令和2年度「よこはま子ども国際平和募金」(¥7,570,984.-) 目録の進呈

・「よこはま子どもピースメッセージ2021」の進呈

(4) 国際連合本部 国連軍縮担当上級代表 中満 泉 氏との会談

・「よこはま子どもピースメッセージ2021」の進呈

(5) 国際連合日本政府代表部 木村 徹也 大使との会談

(6) 国連国際学校（UNIS）事務局長 ダン・プレナー氏、

UNIS 現代語学部長 パコ・バルバ・モラン氏、他 UNIS 教員・生徒と会談

(7) UNIS 生徒による UNIS バーチャルツアー

(8) UNIS 体験入学

(9) ニューヨーク日本人学校生徒との交流



★横浜市国際平和講演会／

SDGs 達成の担い手育成（ESD）推進校情報交換会（オンライン）への参加・・・・・・・・

参加日：【横浜市国際平和講演会】令和4年1月22日(土)
 【ESD推進校情報交換会】令和4年1月25日(火)／2月1日(火)／2月2日(水)
 内容：「よこはま子ども国際平和プログラム」及び「ピースメッセンジャー」の活動を報告



● 「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営をはじめ、「よこはま子ども国際平和プログラム」の全体の活動を支援するために、市内の公私立小・中・義務教育・特別支援学校の校長先生に御協力をいただき、実行委員会を設置しています。今年度は書面等により行い、活動内容は次の通りです。

- 第1回 令和3年4月
 - ・実行委員会設置
 - ・事業内容の審議
- 第2回 令和3年7月
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」実施案の審議
 - ・よこはま子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員の活動について
 - ・よこはま子ども国際平和募金について
- 第3回 令和3年8月
 - ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営・審査
- 第4回 令和4年3月
 - ・令和3年度の事業についての振り返りと令和4年度の事業計画について
 - ・よこはま子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員の活動について
 - ・よこはま子ども国際平和プログラム報告書について

令和3年度「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

職名	氏名	役職
委員長	山手 英樹	港南台第二小学校長
副委員長	葛 蔵造	横浜中学校・高等学校長
委員	新藤 啓二	捜真小学校長
	増田 昌浩	西金沢義務教育学校長
	小林 淳一	若葉台特別支援学校長
	齋藤 容二	帷子小学校長
	鈴木 薫	篠原中学校長
	石川 隆一	教育委員会事務局学校教育企画部長
事務局長	根岸 淳	教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課長

「よこはま子ども国際平和フェスティバル」及び「よこはま子ども国際平和プログラム」事業経過

昭和61年度（1986）

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催（新都市ホール）
- ・平和に関する作文、絵画、歌（作詞・作曲）作品募集
- ・「子ども平和大使」国際連合派遣
- ・アフリカ難民救済基金（7,000ドル）

昭和62年度（1987）

- ・「よこはま子ども洋上平和フェスティバル」開催
- ・「国際平和学習資料」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による福祉活動・募金活動の実施

昭和63年度（1988）

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合及びユニセフ派遣（募金7,959,917円寄託）
- ・世界の平和についての作文募集
- ・「世界の平和についての作文集」作成・配布

平成元年度（1989）

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜博覧会YESホール）
- ・世界の国々の児童生徒との交流（国連国際学校より招待）
- ・世界平和をテーマにしてポスター募集
- ・世界の飢餓に苦しむ子供たちのための啓発・援助活動

平成2年度（1990）

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・ユニセフ東京事務所長チャードリ氏に高秀市長立ち合いのもと、募金を寄託（4,674,407円）
- ・「子ども平和会議」（パシフィコ横浜）
- ・ボンベイ市、マニラ市、上海市からの児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマーク募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成3年度（1991）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ベレッツ・テクエヤル国際連合事務総長へ募金を寄託（6,688,238円）
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「子ども平和会議」（パシフィコ横浜）
- ・バンクーバー市、サンディエゴ市及び国連国際学校の児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマークの愛称募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成4年度（1992）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
- ・コフィ・アナン国際連合事務次長補へ募金を寄託（8,200,271円）
- ・「子ども平和会議」（横浜シンポジウム）
- ・リヨン市、オデッサ市、コンスタンツァ市の児童生徒を招待、交流
- ・「子ども平和まつり」（横浜文化体育館）
- ・「ベレッツ・テクエヤル前国際連合事務総長講演会」（パシフィコ横浜）
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成5年度（1993）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
フトロス・フトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金などを直接手渡す（8,754,208円）
- ・「ピースメッセンジャー都市子ども平和ミニ会議」開催（国連国際学校）
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成6年度（1994）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」リヨン市・国際連合派遣
「よこはまーリヨン平和のモザイク」の共同制作
「よこはまーリヨン子ども平和会議」の開催
「横浜市ーリヨン市姉妹都市提携35周年記念式典」に参加
フトロス・フトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（7,053,059円）
- ・「第9回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（横浜文化体育館）
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による平和募金活動

平成7年度（1995）

- フェスティバル10周年 戦後50年 国連創設50周年記念事業
- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
フトロス・フトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（6,804,535円）
- ・「よこはま子ども平和会議」開催（横浜シンポジウム）
- ・「第10回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（国立横浜国際会議場）
国連国際学校生徒・国連関係者招待
シルビア・ファーマン国際連合事務総長特別補佐官特別講演
横浜市立小学校児童大合唱 組曲「よこはまからあしたへ」（神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏）
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・よこはま子ども国際平和フェスティバル第10回・戦後50年記念パネル展
- ・「すいとん試食会」開催

平成8年度（1996）

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
フトロス・フトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（8,268,762円）
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催（パシフィコ横浜小ホール）
- ・「よこはま子ども平和会議」開催（横浜シンポジウム）
- ・「第11回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催（国立横浜国際会議場）
オデッサ市副市長及び第35学校生徒・教職員招待
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル〜よこはまから世界へ〜」ビデオ製作・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動

平成9年度（1997）

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（7,758,052円）
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（神奈川公会堂、保土ヶ谷公会堂、戸塚公会堂）
- ・「第12回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催
（国立横浜国際会議場）
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・「平和行進曲」彫刻展協賛
- ・国連職員コーラス団受入れ支援

平成10年度（1998）

- ・「よこはま子ども国際平和プログラム」へ名称変更
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（予選：各区／本選：教育文化ホール、西公会堂）
- ・「よこはま青少年ピースメッセンジャー」青少年サミット派遣
（イギリス・パーミンガム市）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（7,923,996円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成11年度（1999）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（予選：各区／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（5,393,708円）
- ・「子ども国際交流団」リヨン市派遣 横浜市～リヨン市姉妹都市提携40周年記念式典に参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成12年度（2000）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（18,791,996円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成13年度（2001）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具三悦（サムエル・クー）氏と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す（13,503,054円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議への参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー会議」の開催 「子どもピースアピール」の作成
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成14年度（2002）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：西公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具三悦（サムエル・クー）氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,661,177円）
- ・「Say Yes for Children インヨコハマ～ユニセフ親善大使ロジャー・ムーア氏を迎えて～」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成15年度（2003）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具三悦（サムエル・クー）氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ルイーズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（12,712,435円）
- ・「よこはま国際子ども食料会議」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成16年度（2004）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会、国連広報センター訪問 駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（10,787,935円）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動
- ・「スマトラ沖大地震・インド洋津波被害救援募金」の呼びかけ

平成17年度（2005）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：保土ヶ谷公会堂）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
マーク・マロックブラウン国際連合事務総長官房長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,129,319円）
- ・「パキスタン大地震被害救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成18年度（2006）

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
（各区審査会／本選：教育文化ホール）
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す（14,534,847円）
- ・「ジャワ島地震救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 19 年度 (2007)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アン・ベネマン ユニセフ事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,331,049円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 20 年度 (2008)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アジャ・ローズ・ミギロ国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(16,992,563円)
- ・「ミャンマー・サイクロン・中国大地震緊急募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 21 年度 (2009)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 功刀 純子 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,569,151円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 22 年度 (2010)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,307,325円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 23 年度 (2011)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,832,231円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 24 年度 (2012)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,002,673円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 25 年度 (2013)

- ・「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に関連して、「よこはま子どもピースメッセンジャー」等による首脳会議参加各国の首脳・閣僚の出迎え、横浜市議会会議場でのベナン共和国ゾマホン・ルフィン駐日特命全権大使の演説に対する御礼の言葉と花束贈呈等
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,245,358円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 26 年度 (2014)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ファ・ジャン広報局担当官と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(9,541,620円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 27 年度 (2015)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
クリスティーナ ギャラチャー広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 坂井スオミ 事務局最高顧問に募金目録を直接手渡す(9,767,656円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 28 年度 (2016)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
潘 基文 国連事務総長に林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 オレン・シュライン 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,578,214円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 29 年度 (2017)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スメル国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 山口郁子事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,773,765円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成30年度(2018)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセンジャーを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ファトゥマ・ソジャエ事務局長に募金目録を直接手渡す(9,914,494円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和元年度(2019)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ジョアン・マクドナルド国連事務総長特別代表(国連国際学校)と会見
林市長メッセージとピースメッセンジャーを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ハナン・スリエマン副代表及びファヤツ・キング副代表に募金目録を直接手渡す(9,869,608円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和2年度(2020)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、よこはま子ども国際平和募金活動以外は中止

令和3年度(2021)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:ビデオ審査)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合オンライン交流
国際連合本部 国連軍縮担当上級代表 中満 泉 氏と会談、ピースメッセンジャーの進呈
- ・ユニセフ本部 コミュニケーション局長パロマ・エスクデロ氏 公的パートナーシップ局長 功刀 純子 氏に募金目録を進呈(7,570,984円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動



発行

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会事務局
横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課内

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-3588